

令和6年度

土成小学校
学力向上実行プラン

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「主体的に学習に取り組み、学びを伝え合い、高め合う児童の育成」
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員

校長

吉本 美香

【各校の取組状況の把握について】

全学年が研究授業をする。報告会を持つ。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能については身に付いている児童が多い。 ●基礎・基本の定着が難しい児童もみられる。 ●話をしっかりと聞くことに課題がある。 ●長い文章を正確に読み取ったり、自分の言葉に置き換えて説明したりする力に課題がある。	・漢字の読み書きや四則計算などの基礎的・基本的な知識技能を確実に身に付けている。 ・相手の話をしっかり聞き、自分の考えをもつことができる。 ・文章を正確に読み取るだけでなく、中心的な部分等、読み分けて要旨をとらえることができる。	・朝のモジュール等でドリル学習に取り組むとともに、ICTを有効に活用し、一人一人に合った方法で基礎基本の定着を図る。 ・発達段階に合った聞くトレーニングを計画的に行う。 ・アンダーラインや丸囲み、図形や表等を活用し、書かれていることを正確に読み取らせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○指示されたことや、手順のわかる学習には積極的に取り組むことができる。 ●自分の考えを、自由に、筋道を立てて表現することに課題がある。 ●既習の知識同士を結びつけて、新しい問題を解決することに課題がある。	・目的や場面に応じて、適切に話したり、聞いたり、話し合ったりしながら、考えを深めることができる。 ・既習の知識を用いて考え・予想を立てることができる。	・ワークシートやヒントカード等を活用したり、ペア活動、グループ活動等の学習形態を工夫したりして、個々の児童が自分の考えを自由に話し合えるようにする。 ・問題文から気付きをどんどん出させたり、子供のつづやきをつなぎ、焦点化して学習課題を立てたりする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題などの与えられた学習に対し、まじめに取り組んだり、自分の関心の高い活動には主体的に取り組んだりする児童が多い。 ●自分から課題を見つけ、その解決に根気よく取り組み、解決しようとする力に課題がある。	・学習内容を自分事としてとらえ、自ら課題を見つけ、その解決に根気よく取り組むことができる。	・学習のめあてや単元のゴールを子供と共有することで、考え方や方法の見通しを立てる。 ・学習の手引き等を活用し、家庭と連携して児童の学習意欲を高める指導を継続する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

